

関係者各位

## 第 2 回 “Innovation Day Japan”の開催について

米国の大手製薬企業のひとつである Eli Lilly 社（以下、Lilly 社）では、がん、糖尿病、アルツハイマー病、自己免疫疾患、疼痛の 5 領域における創薬新規ターゲット及び糖尿病、自己免疫疾患等に対する新規デバイスに関し、大学、研究機関、バイオ企業、製薬企業に所属する研究者の方々と Lilly 社とのマッチングを目的として、第 2 回 “Innovation Day Japan”を開催します。

前回と同様に、名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センターは Lilly 社の依頼を受け、“Innovation Day Japan”の開催に向けて、候補シーズの選定に、協力することとなりました。先生方のご研究の発展や、候補物質の上市に向けた開発という意味では、大きく前進する機会となる可能性を秘めるものであり、積極的にご参加を検討していただけますと幸いです。

### 1. “Innovation Day Japan”とは？

研究者と Lilly 社とのマッチングを目的として開催されます。“Innovation Day Japan”の開催日には、昨年と同様、Lilly 米国本社の研究所トップである Jan Lundberg 博士、並びに各領域、デバイスのトップ研究者 10 名程度が来日し、参加研究者のプレゼンテーションを聴講、討議を行います。Lilly 社側から興味の意味表明がされた場合には、当該研究について Lilly 社との共同研究契約/ライセンス契約に向けた交渉が開始されることとなります。

昨年の第 1 回開催では、30 以上の研究機関が Innovation Day Japan に招待され、そのうち Lilly 米国本社の研究所トップが 10 件以上の案件に高い関心を示し、現在数件に対し共同研究契約の最終的な協議を行っています（添付資料 1 参照）。

なお、本年度の開催時期は、2016 年 9 月 8 日（木）・9 日（金）を予定しています。

### 2. “Innovation Day Japan”の開催までのステップ及び応募方法について

“Innovation Day Japan”の開催までのステップは、添付資料 2 のとおりですが、まずは、下記要領にて応募をしていただく必要がございます。

#### **【応募方法】**

下記①及び②（③は必須要件ではありません。望ましい条件となります。）に該当する研究テーマについて、開示可能な情報のみで（Non-confidential 情報ベースで）、5～10 枚程度の資料を英語で作成いただき、4 月 27 日（水）までに、下記の提出先まで、PPT データ（PDF でも可）で提出してください（化合物特定情報等公開できない情報は非開示で構いません）。なお、該当大学に置かれましては VC（ベンチャーキャピタル）投資候補案件、大学発ベンチャーも視野に入れていただけると幸いです。

## 研究テーマ

### ① がん、糖尿病、Alzheimer 病、自己免疫疾患、疼痛の治療領域、及びデバイス

#### i がん

- ・がん免疫療法の新規アプローチ (Treg、PD-1、PD-L1 周辺)
- ・胃がん・胆のうがん・肝臓がんなどアジア特有の疾患をターゲット
- ・K-ras 等のシグナル伝達系阻害に作用
- ・血管新生阻害に関するアプローチ

#### ii 糖尿病

- ・膵臓  $\beta$  細胞再生 (アポトーシス抑制)
- ・新規投与形態 (例: 経鼻)
- ・肝臓疾患 (例: NASH)
- ・血糖降下だけでなく血圧や脂質に影響を与えるアプローチ

#### iii Alzheimer 病

- ・アミロイド  $\beta$  周辺、BACE 阻害剤、p-tau など新規ターゲットを幅広く含む

#### iv 自己免疫疾患

- ・関節リウマチ、乾癬、全身性エリトマトーデス、潰瘍性大腸炎などを対象
- ・バイオロジクス類似のターゲット、T 細胞や B 細胞に作用するもの
- ・エピジェネティックなターゲット

#### v 疼痛

- ・神経因性疼痛
- ・CGRP や Tanezumab (NGF に対する抗体) を視野に入れた新しいニューロペプチドや栄養因子 (trophic factor)

#### vi デバイス

- ・インシュリンポンプ、持続グルコースモニタリング、次世代オートインジェクター、スマートメディカルデバイスとアプリなど

### ② 新規ターゲット、コンセプトに関する研究。ターゲットが siRNA もしくはノックアウトモデルでバリデートされている。*in vitro data* を有するヒット化合物がある。

### ③ *in vivo data* 及びリード化合物を有する。

## 提出先・問合せ先

名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター  
(名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部)

担当者：浜田 修子

TEL：052-744-2942、FAX：052-744-1303

e-mail: [hamashu@aip.nagoya-u.ac.jp](mailto:hamashu@aip.nagoya-u.ac.jp)

名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター

担当補助者：豊永 亜希子 (名古屋大学)、中島 菜穂 (中部先端医療開発円環コンソーシアム)

TEL：052-744-2942、FAX：052-744-1303

e-mail: [a.toyonaga@med.nagoya-u.ac.jp](mailto:a.toyonaga@med.nagoya-u.ac.jp)、[nao@med.nagoya-u.ac.jp](mailto:nao@med.nagoya-u.ac.jp)

## ※ 今後のスケジュール

- 4月27日： 応募資料（開示可能な情報のみで（Non-confidential ベースで）、5～10枚程度の資料（PPT/PDF データ）を英語で作成）を先端医療・臨床研究支援センターに提出
- 4月28日： 応募資料を先端医療・臨床研究支援センターから Lilly 社に提出
- 6月中旬頃： Lilly 社内での評価後、評価結果を先端医療・臨床研究支援センターに連絡  
その後、先端医療・臨床研究支援センター又は Lilly 社から各研究者へ連絡
- 7～8月： 研究者、名古屋大学及び Lilly 社間で必要に応じて秘密保持契約後、“Innovation Day Japan”への招待状をご送付
- 9月8日・9日： “Innovation Day Japan”開催（東京）  
(研究者による 20-30 枚の PPT スライド（原則 Non-confidential ベースで）によるプレゼンテーション：会議時間は約 1 時間：予定)

## Eli Lilly 社について

1876年に設立された会社で、今年5月で140年周年を迎えます。

数少ないM&Aを経験していないグローバル大手製薬企業で、創業以来、イノベーションを志向し、新規薬剤の開発に非常に注力しています。インスリンの製剤化にカナダのトロント大学との共同で、世界で初めて成功し（1922年）、がん分野ではブロックバスター薬剤となった代謝拮抗剤のアリムタをプリンストン大学のテイラー教授から権利許諾を受け上市に成功した経験などがあります。また、アルツハイマー病研究を25年以上実施しており、近時、後期臨床開発品としてソラネズマブ（アミロイドβに対する抗体）を保有しています。ジプレキサ（統合失調症）、サインバルタ（抗うつ剤）、シアリス（ED、前立腺肥大他）など他にも多数のブロックバスターを創出した実績があります。

名古屋大学医学部附属病院

先端医療・臨床研究支援センター

センター長 石黒 直樹